

# 桐 雷

編集発行 第10号  
 群馬県立桐生工業高等学校  
 同窓会事務局 編集部  
 群馬県桐生市西久方町1-1-41  
 TEL 0277 (22) 7141  
 印刷 湯浅印刷株式会社



左より北川新副会長・山崎・木村・五十嵐・池田・村田新副会長

平成十年度

## 同窓会総会

副会長2名を

新たに選出

### 同窓会長 五十嵐健雄

行く秋の耳かたむけて音は  
 なし 高木晴子

未曾有の経済状況と異常気象、加えるに大水害と多事多難な昨今、同窓会員の諸兄には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。桐雷十号の発行に当たり一言ご挨拶を申し上げます。何時もの事ながら、同窓会は会員同士の交流、交歓が第一と考えております。

去る六月二十日桐生市市民文化会館に於て開催されました総会には百五十名を超える会員諸兄のご参集を戴き、記念講演には第四回卒業生の荻野章先生の熱弁で盛大に開催することが出来ました。

八月二十日の桐生カントリークラブに於ての第七回親善ゴルフコンペには百六十八名の会員のご参集を得て喜々の内に盛大に開催することが出来ました。深く感謝し関係各位に厚く御礼申し上げます。

もう一方の支部活動に就いても、年々活発に活動を展開され支部会員の交流が益々盛んになり誠に喜ばしき次第です。年代こそ違いますが同じ門を

潜た同窓生、同じ地域に住む仲間です意志の通じ会うには時間ばかりりません。同窓生一万七千二百七十七名の絆として、桐雷、をご利用願えれば幸甚に存じ上げます。多くの支部で独自の交流手段として、とつらい埼玉だより、桐雷関西、桐雷静岡だより、桐雷足利だより、等々も発行され益々盛んになっております。

仲間同士が手を携えて地域の発展に寄与し住み良い社会作りに貢献したいものです。クラス会も活発に行われております。学びし母校を慕うのは人として当然でありましょう。まして数年間共に師を戴き勉学に励んだ青春時代であれば一入であります。ここに於ても、徒然だより、つれづれだより等、沢山の交流誌が発行されております。

同窓会の運営に過分なご尽力を戴いている学校と事務局を預かる先生方、それに先輩諸氏の変わらぬご指導に厚く御礼申し上げます。

内外の会員諸兄の益々ご健勝の内でのご活躍と更なる交流交歓が促進されます様に祈念しご挨拶と致します。

校長挨拶

母校・桐工赴任にあたって

校長 尾池康雄



同窓会会員の皆様、益々ご清祥の段、お喜び申し上げます。日頃より、本校の充実・発展に惜しみないご支援・ご協力をいただきますこと、心より感謝を申し上げます。平成十年度の人事異動により、群馬県立太田工業高等学校から赴任し、早くも半年が過ぎようとしております。先輩方々の築かれた桐工の伝統は今に残る校風や校庭にある桜からも忍ばれます。前任者の加藤校長先生は社会の変化や生徒の多様な要望に答えるべくいろいろと改革を手掛けられ、数々の成果を上げられ

ました。微力ではございますが、これらの伝統の継承と前任校長の成果をさらに伸長すべく、一生懸命頑張る覚悟でおります。どうかご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今日の社会へ目を向けて見ますと、グローバル化のシヨンの流れが政治・経済・文化など、あらゆる面に大きな変革と変貌をもたらしつつあります。経済に於けるグローバル・スタンダード化の広がりには、私たちの生活へも次第に入り込んできつつあるようです。また、バブルの後遺症などで金融や経済全般になかなか明るい兆しが見えてこない、さらに高度情報化や少子化、高齢化など社会状況も急激に変化しようとしており、我々の回りや働く環境がいやおうなしに変わろうとしています。日々、産業界で活躍されておられる同窓生の皆さんには、これらの社会変化にも対応され、頑張っていたきたいと思っております。ところで後輩たちに目を向けて見ますと、体操部個人の部で奥沢秀人君、岡部拓也君、

鎌塚恵美さんがインターハイに出場し、また国体への出場も決まっています。また、水泳部の団体と個人の部、そして軟式野球部が関東大会へ出場しました。硬式野球部は秋の大会で一回戦関学附に4・1で勝ち二回戦へ、陸上、バスケット、テニス、卓球、サッカーなど次回大会につながるべく毎日練習に励んでおります。学習面では産業教育フェアへ向けての準備、そして自らの進路実現に向けて夏休み中から頑張っております。

少し古くなりましたが女子マラソンの有森選手が言った「あれが精一杯だった、自分で自分を褒めたい」との言葉が忘れられません。私は生徒たちの学校生活の3年間が、この様な気持ちで終わってくればと思います。学校は「生徒たちが自らの可能性を求め、そして生きる力を養う。」環境と場を用意してやることだと考えております。五十嵐会長さんはじめ、同窓生の皆様には健康に十分留意されまして、母校への一層のご支援・ご協力をお願いいたします。ご挨拶といたします。

開校記念講演

(株)ミツバ勤務 現代の名工 昭和30年機械科卒業 講師 田所正勝氏



【得意技を生かそう】という演題で講演を頂きました。卒業してから現在に至るまで(株)ミツバに勤めている先生はその職場での経験談を中心に話をされました。就職当初、桐工の実習着で市内を駆け回り回りの多くの人と出会ったこと。製図から制作まで1〜10まで作業する部署に配属され、上司から技術知識を吸収できたこと。このことが「現代の名工」をいいたく源となったと人のつながりは大切と話されました。具体的な仕事の話では髪の毛と同じくらいのパイプを製造した方法が印象に残ってい

ます。ピールの空き缶を利用して制作を行ったそうで柔軟な発想が企業を支えていることを感じました。裏話を聞けたことを貴重に思いました。この他、今日は国際化が進み図面表現の統一が必要なこと、CAD化で均一な図面が仕上がるがレイアウト等、何も考えて描かなければ見ずらいものとなり、その意味がなくなることを工業を学ぶ生徒にとって身近な話も頂きました。また、ロボットが主流になりつつある現場風景ではあるが、物づくりは「手作業で始まり手作業で終わる。」といわれるように今後も工業国日本を支えるには技術・技能が必要と説かれました。その基礎を勉強している生徒には自分たちの役割が何なのかと問いつめる良い機会になったことと思えます。「皆さんも、その道に(得意技を生かす道)進んで世の中の発展に貢献して欲しい」と最後にエールを頂き講演は終了しました。就職難の時代に生きる道をどう見つめるのか、その方法を考える時をもちました。ありがとうございました。



# 平成十年度 総会

## 24支部 142名参加

平成十年六月二十日、桐生の顔として定着しつつある桐生市市民文化会館、スカイホールにて百名を超える会員の方々が参加され盛大に総会が開催されました。

開会にあたり五十嵐同窓会長並びに本年度、母校、桐工に校長として赴任して参りました尾池校長より挨拶をいた

だき、五十嵐会長の議長で議事が進行されました。議事は平成九年度事業報告

決算監査報告が承認されたのははじめ、支部活動状況報告もされました。関西支部・前



橋支部・埼玉支部・第十支部・第十六支部・中部支部で総会がおこなわれたとのことで県内・県外ともに活動が盛んなことが伺えました。議事はさらに、平成十年度事業計画

予算の提案がされ満場一致で承認されました。この予算の中には今年度も国際交流費として教育助成金を計上すると

の報告もありました。入学生の減少により事業基金が年々少なくなってきたており、今後

検討が必要になってきている現状も浮彫になりました。今年度は役員改選の年度の

ため、中里事務局長よりその報告が続いて行われました。平賀彰之氏(24・25D)、北

川藤一郎氏(29M)の両氏が副会長を退任され、新たに北

川貞彦氏(27M)、村田永昌氏(29W1)の両氏が副会長として役員に就任することが

満場一致の承認により決定致しました。平賀前副会長には

その場で功績をたたえ表彰をさせていたいただきました。また、

当日、欠席された北川前副会長には後日、表彰状をお渡ししました。

桐雷十号の発行、第六回コ



平賀前副会長(左) 懇親会にて

ルフ大会の日程等に関する報告もありました。最後に会長より総会に出席された先輩方の紹介、役員の紹介等がありました。一部総会の幕を閉じました。

続いて、記念講演が行われました。講師は荻野章氏(16W)、演題は「税務雑感」。

荻野氏の仕事上での経験を話されていただきました。(同項、下二段に内容を掲載)

その後、懇親会に移り、全国からお集まりいただきました同窓会の先輩・後輩を超えた新旧、睦ましい懇談が行われ

ました。最後に腕を組んで



北川前副会長(中央) 支部長会議にて

校歌を参加者全員で唱い、万歳を三唱し、名残惜しみながら再会を期して閉会となりました。



腕を組んで校歌を熱唱

### 平成十年度総会記念講演

昭和16年紡織科卒業  
税理士

講師 荻野 章氏

### 演題「税務雑感」

納税義務のある私たちにとって有益な話をいたたくことができました。三十二年間の税務署生活を中心に話されてくれました。

桐生は昔、闇取引が盛んで勉強をさせられた、また、その当時は織物業が産業の中心で工業で学んだ知識が役にたったとの話。国税局時代は特別調査班として企業の調査に駆

けずり回り修業を積まされたとの話。熊谷の統括官時代は後進の指導に努めたとの話。また、税務署長・税理士になつてからの経験談を納税について調査・指導にあたられる方からの視点で話をいただきました。

話は現在の景気状況にまで進み土地税制が不況の原因を生むこととなったのではないかと話され、税制行政の重要性を改めて感ずる機会をいただきました。法人税の改正ポイントの問題点についての話もありました。

幾つかの調査事案や税法の捉え方を聞くことができました。法律を柔軟に読むように努めてきた、指導してきたと先生の話に人間の温かみを感じました。示唆に富んだ話がありました。ありがとうございました。



荻野氏より講演をいただく

# 支部だより

## 関西支部

日々の活動に

「心」かよわせて

関西支部事務局

「良い心とはモノを大切に  
する心を更に大切に」  
「世間と密着して、人の世の  
幸せのために働いてこそ良い  
心が育まれていく」……。

これは平成八年関西支部総会  
でお招きした薬師寺管主高田  
好胤師が、支部会員二十七名  
に語った言葉であります。去  
る六月二十二日に74歳で亡く  
なられ、七月二十六日の本山  
葬には日本画家の平山郁夫画  
伯、細川護熙元首相はじめ四  
千人が好胤師の最後の別れを  
惜しみました。師の言葉に感  
銘を受け大本山葬に駆けつけ  
手を合わせた支部会員もいる。

年の講演会では、春日大社葉  
室宮司をお迎えし、「**「心道」**  
の心」と題してお話をいただ  
きました。「神様の真実の世  
界を見るのが人間の生きてい  
く目的だが、それをできなく  
するのが「我」である。「我」  
を払拭するには感謝の心、理  
屈抜きに純粋な感謝の心を持  
ち続けることだ。」

講演会は人生に、生活に大  
きな示唆を与えていただく、  
非常に有意義な会合となつて  
来ております。同窓会長五十  
嵐健雄氏は「同窓会は親睦を  
図るだけでなく地域に根ざし  
た活動をするのが本旨だ」と  
語られました。ここに三人  
の献身的なボランティア活  
動をご紹介します。

▽加納昭一副支部長(21D)  
海外留学生の里親として、毎  
年3名延べ50名強の面倒を奥  
様と涙くましい努力です。  
▽今井嘉吉支部長(14W)  
後世に地震の恐ろしさを伝える  
資料館の建設など西宮市民へ  
の「減私奉公」獅子奮迅の  
働きです。「心」あふれる  
桐工OB諸氏の一端でした。

関西支部では同窓会事業の一  
環として支部規約第三条  
「会員相互の研鑽を図る」に  
則り、著名人を招聘して講演  
会を開催致しております。今

▽加納昭一副支部長(21D)  
海外留学生の里親として、毎  
年3名延べ50名強の面倒を奥

特別講演として、一般マス  
コミでは報じられない、二十  
年に及ぶ海外ビジネス生活体  
験の裏話を松下徹也氏(24D)  
よりお聞きしました。ますます国  
際化する経済活動に有益な講  
演であった。

席を改めた懇親会では、昭  
和二十一年夏、戦後初の全国  
中等学校野球大会に母校桐工  
が北関東代表として、甲子園  
に駒を進めたときのことを、  
出席した私のクラスメイト内  
沼泰彦氏(投手)と笠原進氏  
(一塁手)の二人が、打倒桐

中に燃えて厳しい練習に耐え、  
初の甲子園出場場の夢を果たし  
た思い出話を、交互に語り合っ  
た。この間、約一時間……。  
「この小さなボールの中にも  
人生がある……」

「良い心とはモノを大切に  
する心を更に大切に」  
「世間と密着して、人の世の  
幸せのために働いてこそ良い  
心が育まれていく」……。

講演会は人生に、生活に大  
きな示唆を与えていただく、  
非常に有意義な会合となつて  
来ております。同窓会長五十  
嵐健雄氏は「同窓会は親睦を  
図るだけでなく地域に根ざし  
た活動をするのが本旨だ」と  
語られました。ここに三人  
の献身的なボランティア活  
動をご紹介します。

特別講演として、一般マス  
コミでは報じられない、二十  
年に及ぶ海外ビジネス生活体  
験の裏話を松下徹也氏(24D)  
よりお聞きしました。ますます国  
際化する経済活動に有益な講  
演であった。

席を改めた懇親会では、昭  
和二十一年夏、戦後初の全国  
中等学校野球大会に母校桐工  
が北関東代表として、甲子園  
に駒を進めたときのことを、  
出席した私のクラスメイト内  
沼泰彦氏(投手)と笠原進氏  
(一塁手)の二人が、打倒桐

中に燃えて厳しい練習に耐え、  
初の甲子園出場場の夢を果たし  
た思い出話を、交互に語り合っ  
た。この間、約一時間……。  
「この小さなボールの中にも  
人生がある……」

「良い心とはモノを大切に  
する心を更に大切に」  
「世間と密着して、人の世の  
幸せのために働いてこそ良い  
心が育まれていく」……。

講演会は人生に、生活に大  
きな示唆を与えていただく、  
非常に有意義な会合となつて  
来ております。同窓会長五十  
嵐健雄氏は「同窓会は親睦を  
図るだけでなく地域に根ざし  
た活動をするのが本旨だ」と  
語られました。ここに三人  
の献身的なボランティア活  
動をご紹介します。

特別講演として、一般マス  
コミでは報じられない、二十  
年に及ぶ海外ビジネス生活体  
験の裏話を松下徹也氏(24D)  
よりお聞きしました。ますます国  
際化する経済活動に有益な講  
演であった。

席を改めた懇親会では、昭  
和二十一年夏、戦後初の全国  
中等学校野球大会に母校桐工  
が北関東代表として、甲子園  
に駒を進めたときのことを、  
出席した私のクラスメイト内  
沼泰彦氏(投手)と笠原進氏  
(一塁手)の二人が、打倒桐

中に燃えて厳しい練習に耐え、  
初の甲子園出場場の夢を果たし  
た思い出話を、交互に語り合っ  
た。この間、約一時間……。  
「この小さなボールの中にも  
人生がある……」

「良い心とはモノを大切に  
する心を更に大切に」  
「世間と密着して、人の世の  
幸せのために働いてこそ良い  
心が育まれていく」……。

講演会は人生に、生活に大  
きな示唆を与えていただく、  
非常に有意義な会合となつて  
来ております。同窓会長五十  
嵐健雄氏は「同窓会は親睦を  
図るだけでなく地域に根ざし  
た活動をするのが本旨だ」と  
語られました。ここに三人  
の献身的なボランティア活  
動をご紹介します。

特別講演として、一般マス  
コミでは報じられない、二十  
年に及ぶ海外ビジネス生活体  
験の裏話を松下徹也氏(24D)  
よりお聞きしました。ますます国  
際化する経済活動に有益な講  
演であった。

席を改めた懇親会では、昭  
和二十一年夏、戦後初の全国  
中等学校野球大会に母校桐工  
が北関東代表として、甲子園  
に駒を進めたときのことを、  
出席した私のクラスメイト内  
沼泰彦氏(投手)と笠原進氏  
(一塁手)の二人が、打倒桐

中に燃えて厳しい練習に耐え、  
初の甲子園出場場の夢を果たし  
た思い出話を、交互に語り合っ  
た。この間、約一時間……。  
「この小さなボールの中にも  
人生がある……」

「良い心とはモノを大切に  
する心を更に大切に」  
「世間と密着して、人の世の  
幸せのために働いてこそ良い  
心が育まれていく」……。

講演会は人生に、生活に大  
きな示唆を与えていただく、  
非常に有意義な会合となつて  
来ております。同窓会長五十  
嵐健雄氏は「同窓会は親睦を  
図るだけでなく地域に根ざし  
た活動をするのが本旨だ」と  
語られました。ここに三人  
の献身的なボランティア活  
動をご紹介します。

特別講演として、一般マス  
コミでは報じられない、二十  
年に及ぶ海外ビジネス生活体  
験の裏話を松下徹也氏(24D)  
よりお聞きしました。ますます国  
際化する経済活動に有益な講  
演であった。

席を改めた懇親会では、昭  
和二十一年夏、戦後初の全国  
中等学校野球大会に母校桐工  
が北関東代表として、甲子園  
に駒を進めたときのことを、  
出席した私のクラスメイト内  
沼泰彦氏(投手)と笠原進氏  
(一塁手)の二人が、打倒桐

中に燃えて厳しい練習に耐え、  
初の甲子園出場場の夢を果たし  
た思い出話を、交互に語り合っ  
た。この間、約一時間……。  
「この小さなボールの中にも  
人生がある……」

「良い心とはモノを大切に  
する心を更に大切に」  
「世間と密着して、人の世の  
幸せのために働いてこそ良い  
心が育まれていく」……。

講演会は人生に、生活に大  
きな示唆を与えていただく、  
非常に有意義な会合となつて  
来ております。同窓会長五十  
嵐健雄氏は「同窓会は親睦を  
図るだけでなく地域に根ざし  
た活動をするのが本旨だ」と  
語られました。ここに三人  
の献身的なボランティア活  
動をご紹介します。

特別講演として、一般マス  
コミでは報じられない、二十  
年に及ぶ海外ビジネス生活体  
験の裏話を松下徹也氏(24D)  
よりお聞きしました。ますます国  
際化する経済活動に有益な講  
演であった。

席を改めた懇親会では、昭  
和二十一年夏、戦後初の全国  
中等学校野球大会に母校桐工  
が北関東代表として、甲子園  
に駒を進めたときのことを、  
出席した私のクラスメイト内  
沼泰彦氏(投手)と笠原進氏  
(一塁手)の二人が、打倒桐

中に燃えて厳しい練習に耐え、  
初の甲子園出場場の夢を果たし  
た思い出話を、交互に語り合っ  
た。この間、約一時間……。  
「この小さなボールの中にも  
人生がある……」

「良い心とはモノを大切に  
する心を更に大切に」  
「世間と密着して、人の世の  
幸せのために働いてこそ良い  
心が育まれていく」……。

講演会は人生に、生活に大  
きな示唆を与えていただく、  
非常に有意義な会合となつて  
来ております。同窓会長五十  
嵐健雄氏は「同窓会は親睦を  
図るだけでなく地域に根ざし  
た活動をするのが本旨だ」と  
語られました。ここに三人  
の献身的なボランティア活  
動をご紹介します。

特別講演として、一般マス  
コミでは報じられない、二十  
年に及ぶ海外ビジネス生活体  
験の裏話を松下徹也氏(24D)  
よりお聞きしました。ますます国  
際化する経済活動に有益な講  
演であった。

席を改めた懇親会では、昭  
和二十一年夏、戦後初の全国  
中等学校野球大会に母校桐工  
が北関東代表として、甲子園  
に駒を進めたときのことを、  
出席した私のクラスメイト内  
沼泰彦氏(投手)と笠原進氏  
(一塁手)の二人が、打倒桐

中に燃えて厳しい練習に耐え、  
初の甲子園出場場の夢を果たし  
た思い出話を、交互に語り合っ  
た。この間、約一時間……。  
「この小さなボールの中にも  
人生がある……」

「良い心とはモノを大切に  
する心を更に大切に」  
「世間と密着して、人の世の  
幸せのために働いてこそ良い  
心が育まれていく」……。

講演会は人生に、生活に大  
きな示唆を与えていただく、  
非常に有意義な会合となつて  
来ております。同窓会長五十  
嵐健雄氏は「同窓会は親睦を  
図るだけでなく地域に根ざし  
た活動をするのが本旨だ」と  
語られました。ここに三人  
の献身的なボランティア活  
動をご紹介します。

特別講演として、一般マス  
コミでは報じられない、二十  
年に及ぶ海外ビジネス生活体  
験の裏話を松下徹也氏(24D)  
よりお聞きしました。ますます国  
際化する経済活動に有益な講  
演であった。

席を改めた懇親会では、昭  
和二十一年夏、戦後初の全国  
中等学校野球大会に母校桐工  
が北関東代表として、甲子園  
に駒を進めたときのことを、  
出席した私のクラスメイト内  
沼泰彦氏(投手)と笠原進氏  
(一塁手)の二人が、打倒桐

中に燃えて厳しい練習に耐え、  
初の甲子園出場場の夢を果たし  
た思い出話を、交互に語り合っ  
た。この間、約一時間……。  
「この小さなボールの中にも  
人生がある……」

「良い心とはモノを大切に  
する心を更に大切に」  
「世間と密着して、人の世の  
幸せのために働いてこそ良い  
心が育まれていく」……。

講演会は人生に、生活に大  
きな示唆を与えていただく、  
非常に有意義な会合となつて  
来ております。同窓会長五十  
嵐健雄氏は「同窓会は親睦を  
図るだけでなく地域に根ざし  
た活動をするのが本旨だ」と  
語られました。ここに三人  
の献身的なボランティア活  
動をご紹介します。

特別講演として、一般マス  
コミでは報じられない、二十  
年に及ぶ海外ビジネス生活体  
験の裏話を松下徹也氏(24D)  
よりお聞きしました。ますます国  
際化する経済活動に有益な講  
演であった。

席を改めた懇親会では、昭  
和二十一年夏、戦後初の全国  
中等学校野球大会に母校桐工  
が北関東代表として、甲子園  
に駒を進めたときのことを、  
出席した私のクラスメイト内  
沼泰彦氏(投手)と笠原進氏  
(一塁手)の二人が、打倒桐

中に燃えて厳しい練習に耐え、  
初の甲子園出場場の夢を果たし  
た思い出話を、交互に語り合っ  
た。この間、約一時間……。  
「この小さなボールの中にも  
人生がある……」



桐生工業高等学校同窓会  
九州支部 第6回総会

## 静岡県支部

「残暑の夕べ」

納涼懇親会を開催

事務局 野竹康和

本年、静岡県の夏は、初め  
の頃は、雨のふる日が時々あ  
りましたが、おおむね晴天続  
きで、猛暑の厳しい日々が多  
かったといえます。北陸や東  
北地方は、長雨が続き、日々  
の生活や、農作物の不作など、  
さんさんな夏であったと聞い  
ております。

私達の静岡は、日中の暑さ  
に閉口した毎日でした。そんな  
な暑さと、昨今の不景気風を  
吹き飛ばそうと、去る八月二  
十二日、静岡駅ビル屋上のピ  
アーガーデンで、有志による  
納涼懇親の夕べを開催致しま  
した。出席者は、高草木支部  
長始め、松村、二渡両先輩と、  
石坂、野竹両副支部長の五名  
でしたが、大いに盛り上った  
納涼の夕べとなりました。

八月も終盤、さすがに夕方  
になると、風もつつすらと涼  
しくなり、駅ビルの屋上から  
見渡す静岡の街並みを展望し  
ながら、大いに生ビールを飲  
み大いに語りあいました。



### 第7回桐生工高親善ゴルフ大会

日時 平成10年8月20日(木)  
場所 桐生カントリー倶楽部  
多くの支部よりチーム参加があり153名で開催されました。



団体戦優勝の第3支部

- 団体戦成績 (平均ネット)
- 優勝 堤支部 (72・24)
  - 2位 合同B (72・32)
  - 3位 笠懸支部 (72・92)
  - 4位 広沢四〜七丁目 (73・04)
  - 5位 相生一〜五丁目 (73・12)
  - 6位 大間々支部 (73・16)
  - 7位 4・5支部 (74・00)
  - 8位 川内支部 (74・08)
  - 9位 境野支部 (74・36)
  - 10位 広沢一〜三丁目 (75・28)
  - 11位 梅田支部 (75・44)
  - 12位 本部十学校 (75・68)

- 13位 合同A (76・52)
- 14位 東支部 (76・96)
- 15位 前橋支部 (77・00)
- 16位 本町一〜三丁目 (77・32)
- 17位 太田支部 (77・84)
- 18位 埼玉支部 (77・88)
- 19位 菱支部 (78・16)
- 20位 薮塚支部 (78・36)
- 21位 加藤鉄工 (78・88)



個人優勝の橋内氏



今年は岡部先生

- 個人戦の部
- 優勝 橋内 俊 38W (68・8)
  - 2位 小保方英児 43A (70・0)
  - 3位 新井日出男 37E (70・2)
  - 4位 野村 滋 42A (70・2)
  - 5位 武井庄太郎 39D (71・0)
  - 6位 青山 征夫 38E (71・4)
  - 7位 柳川 一郎 28M (71・6)
  - 8位 六本木知宏 32M (71・8)
  - 9位 新員 雅久 43M (72・0)
  - 10位 田島光一郎 35E (72・2)



最後は校歌だね

やっぱりうれしそう!!



**クラス会便り**

昭和三十一年度卒業 還暦同窓会 岩崎朝七

諸先輩、後輩の皆様方、御無沙汰しております。これまでもクラス会等は時々開催しているとお話は耳にしておりますが、卒業年度による合同同窓会開催は初めてではないかと思っております。投稿いたします。

雨期真最中の六月十三日〜十四日、水上温泉郷ホテル聚楽に四十二年ぶりに五十三名が参加して合同同窓会を開催いたしました。

ある者は自営業、ある者はサラリーマンとして、業界の柱となつて活躍し、年輪を重ね人生の区切りとなる年代を迎えることになりました。

会では参加者全員が、揃いの真っ赤なハッピをまとい、お互い青春時代に戻り、『お元気でいたか』、『おいどうしているのか』などと語り合いながら酒杯を重ね、大いに盛り上がり、そして、いつし



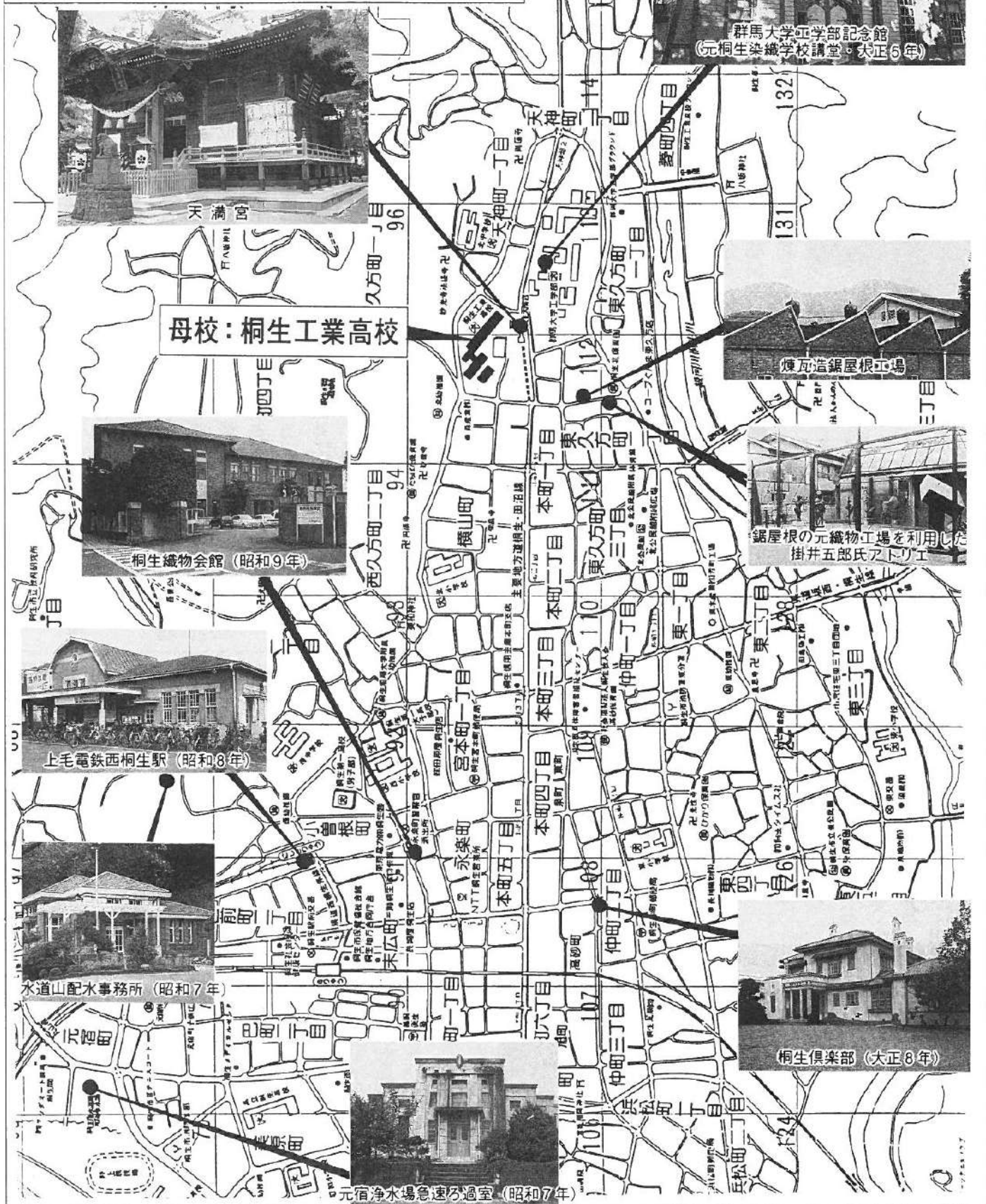
第7回桐生工高同窓会親善ゴルフ大会

か「伸ばせ学舎栄えある母校」桐生工業、桐生工業、と校歌の大合唱を繰返し、質実剛健そのもので、時のたつのを忘れる程の盛り上がりとなりました。特に、会長挨拶の中で「これから我々の人生のスタートであり、今後もつと相互の交流を深め、元氣な第二の人生を語り合う機会を二〜三年に一度程度開催しよう」との提案が行われ、賛同も多数あり、次回開催を楽しみに散会しました。

尚、会長には岩崎朝七を選出いたしました。

# 桐生だより II

## 今も残っている懐かしい建物たち



天満宮



群馬大学工学部記念館  
(元桐生染織学校講堂。大正6年)

母校：桐生工業高校



煉瓦造鋳屋根工場



桐生織物会館 (昭和9年)



鋳屋根の元織物工場を利用した  
掛井五郎氏アトリエ



上毛電鉄西桐生駅 (昭和8年)



水道山配水事務所 (昭和7年)



桐生倶楽部 (大正8年)



元宿浄水場急造通路 (昭和7年)



# 学校だより

## 桐生の就職指導

進路指導主事

星野隆一

昨年度の本校卒業業者数は二六〇人で、その内、就職が一三四人の五一・五％。就職進学二・七％。進学四五・八％であった。文部省の調査では今春の高卒の就職率は景気低迷の経済状態の中、過去最悪であるとされた。そして、今後この様な状態が長引くと予想される。この様な厳しい中であるが、生徒一人一人の能力・適正に応じた正しい進路の選択・決定ができるように、進路情報の提供、進路相談、就職や進学を紹介を行っている。

四月には全校生徒に進路希望調査。また、公務員の説明会実施。五月に入り、毎年二年生は職業適正検査を行っている。この検査結果の能力や適正をもとに自分自身を認識し、更に面談等で進むべき進路・職種について再考している。五月末には全学年で学級別懇談会を実施し、進路資料・進路ガイドブック等を配布し、一年から早速、就職が進学の選択を行う。希望進路達成に向け、二年から専門科目・普通科目の選択があるためである。六月は進路指導部による工場見学が二年・三年生全員を対象に行われる。今年も企業や施設の見学が有意義にできた。

また、その後、「先輩が語る進路体験発表会」では、二年・三年の各クラスに、働きだしてから二〜三年経っている先輩に来てもらい、高校時代の過ごし方、就職に向けての心構え、現在の仕事内容、そして、いま高校生として何をしたらよいか等を詳しく話していただいた。このうち、二年生は全員就職関係であったが、三年生は就職希望と進学希望に分け、進学した先輩にも体験発表をしていただいた。

た。これは将来の生き方と進路の適切な選択決定に大いに役立ったものと思う。

六月中旬には三年生の三者面談があり、生徒・保護者・担任とで進路決定の確認を行っている。

七月一日より求人受付開始。企業見学をできるだけ行い、自分自身で納得のいく会社を決めてもらいたいと考えている。そして、夏休み後にはそれぞれの希望企業に応募書類を発送し、九月十六日に就職試験が開始となる。

十月下旬には就職内定者指導があり、十二月中旬には、一、二年のLHRで三年生に、

自分の進路実現に向けてのように入り組んできたかを話してもらおう進路体験報告が行われている。

進路の年間行事の一部を紹介したが、厳しい就職戦線を勝ち抜くためには、とにかく早い時期に進路を意識させ、その希望に向けて、継続的な指導が不可欠と思われる。

第二種電気工事士免許状を取得すると、一般住宅や小規模店舗、事務所などのように電力会社から低圧（六〇〇ボルト以下）の電圧で受電する電気工作物の設置、また変更する為の工事に従事することができます。

本年度も夏休み返上で頑張ります。

### 第二種電気工事士への挑戦

電気科 川崎八郎

そして、第一種電気工事士に挑戦する。

本校電気科では、通産省の認定校として電気科卒業後は学科試験免除となりますが、自ら資格取得をしようと努力しております。本校では二年生を対象に（OBも含む）早い時期から、筆記試験、技能試験の合格を目指して、職員生徒頑張っております。

第一種電気工事士は、勿論第二種に合格していなければ取得することはできません。また、第三種電気主任技術者は電気科卒業後実務経験によつて取得可能となっております。



本年度も夏休み返上で頑張ります。この十数年間達成できなかった四割以上の合格者が出ました。さらに、学校生活内にと、各種の国家試験に合格すべく、全職員、生徒たちは努力しています。

今後とも同窓会員の皆様におかれましてはご指導、ご協力をお願い申し上げます。

# 軟式野球

顧問 沢田 修

本校軟式野球部は第四十六回春季関東高等学校軟式野球大会に、群馬D代表として出場し、作新学院と五月二十九日に桐生球場で対戦した。

作新学院は昭和六十一年から平成八年までの十一年連続全国大会出場（北関東、群馬栃木、茨城の代表）、その間二連覇を含む全国優勝四回の実績を持っている。

大会前、だれしもがこのカードは作新がコールドで桐工に勝つものと思っていた。

桐工のメンバーは、投・吉田典幸、捕・真藤正範、一・村田剛、二・塚越正博、三・塚越拓司、遊・根岸涼太、左・金子純一、中・高井翼、右・河野宏幸の三年六人・二年二人・一年一人で挑んだ。

立ち上り作新の矢古宇の調子がいまひとつ良くなく、1アウト2塁までせめたが、得点できず。そこからがまんのイニングが続いた。エース吉田もできが悪い。四球の連続

しかし作新の拙攻にも助けられ、六点取られたものの大方の予想に反し、九回まで試合は進んだ。ここまできたら何とか一点をノ点差が開いたた

めにくれかかってきた気が持がひとつになった。そして九回表、四球・安打と続き内野ゴロが相手の失策をよびついに桐工のスコアボードに1が入った。試合には六対一で敗れは

したが、生徒の中には大きな自信となつて心の中に刻まれた。大会が終つて作新戦の善戦に喜んでいた生徒も、敗けて喜んでる自分が悔しいと言いだした。上を見はじめてきたのだ。



# 事務局だより

事務局長長野五輪で活躍

本校同窓会の中里昌明事務局長（35M）が、今年2月に行なわれた長野夏季オリンピックに参加されました。選手としてではなく、スピードスケート競技で、審判長としての参加です。

日本でも数名という、ISU（国際スケート連盟）のライセンスを取得されていて、国内はもちろん、先年中国で行なわれた世界選手権へも、審判員として参加しました。

豊富な経歴を生かし、中野のエムウェブでは、リンク中央で采配を揮う「チーフトラックオフィシャル」という非常に重要な役割です。

競技進行と走路妨害や違反行為などをリンク内でチェックする役目です。

競技では、違反行為やクレームを的確に判断し、処理されていました。テレビ放映していたので、ご覧になった方もいらつしやると思います。

男子五百メートル清水宏保選手の日本スケート界初の金

メダル獲得の瞬間にも立ち合われ、感激されたようです。

仕事は多忙で、早朝から、打ち合せ・競技・終了後には翌日の組み合わせ表を持ち帰って独自のオフィシャルシート作り等、夜遅くまで、神経を使つた気の抜けない日々が続き、学校へ帰ってきたときには少しスマートになつていました。大役ご苦労様でした。

総務部長H記

## 本部役員変更のお知らせ

- 副会長 北川貞彦（平賀）
- 副会長 村田永昌（北川）
- 常任幹事 田島光一郎（田村）
- 支部長

- 6支部 須貝富次（鈴木）
  - 7支部 森島虎之助（横塚）
  - 10支部 池田英二（峯崎）
  - 17支部 星野利男（和田）
- 以上各氏に交代しました。

## 「長野のエムウェブにて」



（桐生タイムスより）

# 編集後記

早いもので「桐雷」も第十号を数えるにいたりしました。同窓会報を二年もしくは三年に一度にという意見もでておりますが、発行を楽しみにしてくださる同窓会員の皆様に第十号をお届けすることができ安堵しております。結論は次の機会に検討されることになりました。

今回は特集を組むことをせず、従来の形に戻してみましたがいかがでしょうか。今年と同窓である尾池康雄校長が赴任されました。掲載した挨拶からも母校、生徒に対する深い愛情が感じられ、学校行事はもとより同窓会活動の気運もますます高まるものと心強く感じました。

昨今の社会情勢、経済状況は全くと違っていいほど明るい題材が見当たりませんが、同窓会における心暖まる交流が続いていくことを願ってやみません。その橋渡しとして桐雷が有効に活用されれば喜ばしいことと思います。ご愛読をお願いします。